

伝統×モダン 有田波佐見物語 ～400年の陶磁器の里で新たな発見～

■ストーリーの象徴的なイメージ

伝統×モダン 有田波佐見物語
～400年の陶磁器の里で新たな発見～



■ペルソナ(主なターゲット層)

カジュアルリッチな女性層

インテリアや食材(食事)にとっても興味が有り、お金と時間を自分の楽しみのために使うことができる、Well-beingライフスタイルの女性。



名前: 鈴木沙織 42歳
 家族構成: 夫44歳、娘16歳、息子13歳
 職業: 出産を機に専業主婦(夫:地元金融機関勤務)
 住所: 福岡県福岡市
 世帯年収: 800万円
 趣味: 気分によって紅茶やコーヒーの種類を替え、味や香りを楽しむ(インスタントはNG)。SNSで発信するのが好き。子供が中学生になり、学校にいる時間も増え、平日の昼間に同級生とプチ贅沢を楽しむ

名前: 木村美佐子 30歳
 家族構成: 独身
 職業: OL
 住所: 長崎県佐世保市
 世帯年収: 400万円
 趣味: 仕事にも慣れてきて、興味関心もいろいろ増え、時間をお金を自分のために使って、独身ライフを楽しんでいる。

■経験ストーリー

◆1日目 やきものだけじゃない、ディープな陶磁器の里→波佐見町へ

四季舎や窯元の工場跡地をリノベーションした西ノ原地区等の女性に人気のレストランやカフェ、ギャラリーを巡る。そして1日の旅の疲れは、湯治楼で心身ともに癒す。

陶郷中尾山の先に「四季舎」



不思議の空間「今里酒造」



ディープ波佐見の中心地「西の原」



目を閉じて「西の原のカフェ2階」



物産館、窯元、商社にて



湯けむりと朝霧に出会う「湯治楼」



◆2日目 有田おもてなしで、伝統のまち、魅力・深・発見→有田町へ

有田焼の町並み、陶磁器・伝統的な窯元を見学して、日本陶磁器誕生400年の歴史、空気感を肌で感じる。最後は有田焼のコーヒーカップでコーヒーを嗜み、2日間の旅を振り返る。

波佐見町から有田町へ・・・実は隣町



有田焼

(女性が支えてきたもう一つのストーリー)



パワースポットとして、ハートマークがあるという・・・



伝統の有田焼「源右衛門窯」



有田焼をカジュアルに「ギャラリー有田」



有田町と波佐見町はこれからも新しい

